

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市産業文化複合施設（あきる野ルピア）
	所在地	東京都あきる野市秋川一丁目8番地
	所管課	教育部生涯学習推進課生涯学習係
指定管理者	名 称	株式会社コンベンションリンクージ
	所在地	東京都あきる野市一丁目8番地
	業務内容	1 あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用承認等に関すること。 2 あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用に係る利用料金の徴収に関すること。 3 あきる野ルピア施設及び附属設備等の維持管理及び安全に関すること。 4 あきる野ルピア施設及び附属設備等の簡易修繕に関すること。 5 生涯学習事業等の実施に関すること。 6 その他施設及び事業の管理運営に関して、教育委員会が必要と認めること。
	ホームページURL	http://akiruno-rupia.jp/
	指 定 期 間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開館等日数（日）	357	358	357		
利用者（来客者）数（人）	55,707	64,472	65,636		
前年度比（人）	—	8,765	1,164		
前年度比（%）	—	116	102		
利用料金（売上）合計（千円）	14,436	14,667	15,808		
前年度比（千円）	—	231	1,141		
前年度比（%）	—	102	108		

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項 目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 入	指定管理料	9,455	9,455	9,455		
	利用料金	12,536	12,749	13,816		
	NHK 学園他収入	3,668	3,654	3,924		
	計	25,659	25,858	27,195		
支 出	人件費	9,232	10,865	11,526		
	運営費	9,987	8,013	7,437		
	施設維持管理費	3,614	3,585	3,636		
	自主事業関係経費	5	18	21		
	その他の支出	—	—	—		
	計	22,839	22,482	22,619		
収支（収入－支出）		2,820	3,376	4,576		

※利用料金及び使用料収入については平成28年度内の施設使用について計上している。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・随時、施設利用者に対してアンケートを実施したほか、9月24日（土）に行われた「第5回ルピアJukuフェスタ」と1月15日（日）に開催した「第2回あきる野ルピアアンサンブルコンサート」についても満足度アンケートを行いました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・商行為について直接金銭の収受が行われていない場合、商行為となる根拠を示してほしいとの問い合わせがありました。産業文化複合施設（あきる野ルピア）条例内に明記されている「商行為」については、国が定める商法に従っており、商法503条第1項により社員以外の人を対象に展示、陳列する行為は商行為に該当することを説明し、ご納得いただきました。 ・レセプションルームにおいて、ブラインドを調整しようとしたが紐やブラインドの歯車部分が破損しており昇降することができないとご意見があったため、暗幕を設置する等して一時対応しました。ブラインドは歯車部分等の破損が多いため、代替品としてカーテンを購入し、改善する予定です。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援（名称：ルピア塾）を継続して実施しました。また、3階総合窓口の正面にルピア塾の案内ボードを設置し、ルピア塾の普及活動に努めました。その他、ルピア塾講師が出店し、ワンコインで講座を体験できるオープンスクール（名称：ルピアJukuフェスタ）を昨年に引き続き開催しました（来場者数105人）。また、毎年恒例となりつつある、「第2回あきる野ルピアアンサンブルコンサート」では、隣接する町内の団体も参加したこともあり広域な交流が生まれ、より有意義なコンサートとなりました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
・テナントと省エネの取組について資料回覧をしたほか、こまめな空調と照明の使用により、光熱費が昨年対比で約75万円の削減となりました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
・利用者数、利用料金ともに順調に右肩上がりです。光熱費の削減により運営費の削減が見られ、全体収支も昨年対比で35%ほど上昇しました。 ・今後は、さらに身近な施設づくりを目指し、地域と同指定管理施設である秋川キララホールと連携を図りながら、事業の発展に努めてまいります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
今年度も生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援を継続して実施し、新たに案内ボードを設置するなど、施設利用の促進と利用者の利便性の向上を図っています。また、アンサンブルコンサートの実施により、市内だけでなく隣接地域の交流が定着し、来場者数も昨年度より増加しており、市民サービスの向上が図られていると評価できます。	
経費削減の取組	
昨年から引き続き、テナントと協力した積極的な経費削減に取り組んでいると評価できます。今後も、引き続きの経費削減をお願いします。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
ルピアJ u k uフェスタについては、開催時期や他団体との連携を検討し、今後さらに参加者の増加につながるよう努めてください。また、引き続き施設利用者や自主事業の来館者へアンケート調査を実施することで、市民ニーズの把握に努めるとともに、来館者からの意見を施設の管理運営等に反映させるようお願いします。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。